



会報 第76号  
令和元年7月1日発行

# 新構造社

一般社団法人 新構造社  
〒111-0032 東京都台東区浅草 5-33-1  
電話・FAX 03-5808-9976  
http://shinkozo.or.jp  
E-mail shinkozo@wa3.so-net.ne.jp



## 「新時代に向かって」

常務理事 齊藤 猛

令和元年が始まりました。日本の国民的古典の万葉集からの出典ということですが、「つややかで美しく和やか」という意味が感じられ、一国民としてそのような時代が続くことを心より願っております。

新構造社は 昨年90回記念展を迎え、数々のイベントと共に会員皆様の熱意ある創作により盛会裏に展覧会を開催することができました。これを励みに、くしくも令和元年を迎えた今年から100回記念

展に向けて精進、前進をしていくこととなります。大正・昭和・平成の時代をつないできた先輩・現会員の皆様のご尽力は筆舌に代え難いものがあります。新構造社は作家の自由な制作活動支援し発表の場を提供する会であります。絵画・版画・彫刻・工芸・写真の5部門そろって、新時代に向かって制作活動に邁進して行こうではありませんか。

## 掲載内容

「新時代に向かって」 齊藤 猛(常務理事)	P1	第49回長野支部展	P10	一般社団法人 新構造社委員会役割分担一覧	P14
新構造東京展(第7回展)	P2	第59回和歌山支部展	P10	我が勉強会について	P14
社員総会(第7回)のご報告	P3	第33回茨城支部展	P11	永島秀雄先生を偲んで	P15
第7期事業報告	P4	第49回千葉支部展	P11	名誉会員 近藤たいわ先生ご逝去	P15
第8期事業計画	P5	トピックス		インターネット合評会	P15
第7期収支実績	P6	日台交流の打ち合わせ	P12	理事会・合同委員会報告	P16
第7期決算のまとめ	P7	第21回全日写連彩北写真展	P12	編集後記	P16
第8期収支予算	P8	初山個展	P12		
支部展報告		益村個展	P13		
第36回香川支部展	P9	紀行・美術の旅 一前編	P13		

# 新構造東京展(第7回展)

## 1. 概況

第7回新構造東京展が本年も六本木の国立新美術館において開催(会期:2月20日～3月4日)されました。今回は、前回の第90回記念展から一般公募展としては第2回目の展覧会(第5回目まではエキシビジョン展)となりました。更に、今回は東京支部創設を前提とした展示を行い、新たな一歩としました。

結果として、出品者は前回よりは下回るものの134名、出品点数153点となり、来場者も5,700人程と成功裏に開催することが出来ました。

また、会期中は記念賞受賞者を中心にギャラリートークも開かれ、例年の東京五美術大学卒業制作展の若い観客や外国人の入場者も加わって活気に満ちた展覧会となりました。



## 2. 受賞者

最優秀賞	絵画部	森靖男
	工芸部	草間冴子
優秀賞	絵画部	田辺直美
	絵画部	加藤智美
	版画部	小田悦子
	工芸部	竹居美知子
	写真部	新井傳
奨励賞	絵画部	工藤保進
	工芸部	森陽子
	写真部	大島齋礼

## 3. 出品状況(部門別・ 前回比較)

部門	出品者数	前回比	出品点数	前回比
絵画部	85	△ 21	93	△ 13
版画部	6	△ 5	7	△ 10
彫刻部	3	△ 1	4	△ 1
工芸部	18	△ 2	20	△ 5
写真部	22	△ 5	29	△ 16
計	134	△ 34	153	△ 45





**公募**

SHINKOZOU EXHIBITION

# 第7回新構造東京展

六本木国立新美術館

2019年  
**2.20.(水)～**  
**3.4.(月)**

AM10:00～PM6:00  
最終日PM5:00まで  
※実業大学は、奉納品の届きまで日曜休止  
2/26は休館日です。

●2/24 授賞式=PM1:00～  
ギャラリートーク=PM2:00～

展示室3階3A室  
[入場無料]  
一般社団法人 新構造社

- ・ 絵画
- ・ 版画
- ・ 彫刻
- ・ 工芸
- ・ 写真





# 社員総会(第7回)のご報告



平成31年3月23日午前10時35分から、東京都美術館講堂において第7回定時社員総会が開催されました。当日の社員総数は172名、開会時の出席社員数は135名(うち本人出席43名、委任状出席76名、議決権行使書提出16名)で、法定の社員総会定足数を満たし、適法に議事及び議決が行われました。

**出席理事:** 中谷時男 谷田川卓 西野和治 斉藤猛 工藤一二 安納剛一 原尚利 瀧川隆  
 関戸三郎 宮脇豊子 谷本清彦 平島昭久 片桐学而 丸田隆則 飯島敏子 石山匠  
 16名出席 (欠席: 戸田とし子 益村司 越後瑤子)

**出席監事:** 作山隆一 竹澤勝美 米屋綾子 3名出席

**議事録署名人** 岩澤秋弘 青木和江

議事及び議決の概要は以下のとおりです。

## 中谷理事長



昨今少子化にともない美術愛好者の減少がささやかれておりますが、私も新構造社では昨年第90回記念展を無事に開催することができました。今年は新しい元号のもとで第91回展を開催することになります。5部門をそろえた総合展としてよい展示となるよう皆さんと一緒に努めていきたい。本日の社員総会では第5号議案で年会費の改定の件、第6号議案で理事・監事の選任など重要議案がありますので慎重な審議と皆様のご協力をよろしく願いたい。

## 司 会

定款32条により理事長が議長に就任する。

## 〔報告事項〕

### 斉藤理事



・台湾との交流展について  
 昨年台湾交流センターでの可徳来先生33回忌の回顧展に新構造社から大勢参加し交流が深まった。交流の一環として第91回展には台湾作家2名が参加する予定である。また、台北近郊の可徳来先生の生まれ故郷の新竹市美術館の主催で「可徳来と新構造社展」が開催される。

## 〔第1号議案〕

### 斉藤理事

平成30年度(第7期)事業報告承認の件  
 ・第1号議案について説明(第7期事業報告4ページ参照)

## 議 長

・第1号議案について質疑に応じ、質疑がなかったので採決する。  
 -賛成131名。

## 議 長

賛成多数で原案通り承認された。

## 〔第2号議案〕 平成30年度(第7期)決算報告承認の件

### 平島理事

・第7期決算報告及び概況を説明(6~7ページ参照)

## 議 長

監査から監査報告を。

### 竹澤監事

・議案書8頁により適正である旨報告

## 議 長

・第2号議案について質疑がなかったので採決する。

-賛成130名。

## 議 長

賛成多数で原案通り承認された。

## 〔第3号議案〕

平成31年度(第8期)事業計画案承認の件

### 斉藤理事

・第3号議案について説明(第8期事業報告5ページ参照)

## 社員質疑

・今総会で東京支部の設立の承認ということが全国支部の活動推進強化の中にあつたが、東京支部について支部の概要を説明願いたい。

### 斉藤理事

・昨年、原常務理事が中心となり設立し、只今本総会で設立が承認された。なお、支部長は原常務理事で他の細かい内容は今後行う。

## 議 長

・第3号議案について他に質疑がなかったので採決する。

-賛成132名。

## 議 長

賛成多数で原案通り承認された。

## 〔第4号議案〕

平成31年度(第8期)会計予算案承認の件

### 平島理事

・第8期会計予算案を説明(8~9ページ参

- 社員質疑 照)  
 ・事業計画で会員減少について触れていないのは違和感がある。今後現状をどうするのか少ない人数でどうやっていくのか事業計画で示して欲しい。
- 平島理事  
 ・おっしゃるとおり会員増は実現していない。規模を守る運営を考えていかなければならない時期に来ている。  
 ・会員が減っているのは現実であるが、会員減はある程度底になってきているという見込みで今回の予算案を作成している。今後も皆さんのご意見を参考にしていきたい。
- 議長  
 ・第4号議案について他に質疑がなかったので採決する。  
 -賛成131名。
- 議長  
 賛成多数で原案通り承認された。
- 〔第5号議案〕 年会費改定の件
- 平島理事  
 ・年会費改定案を説明(〇～〇ページ参照)
- 社員質疑  
 ・若い人を一生懸命育成しているが、若い人は経済的に余裕がなく、生活費に苦労しているのが現状。会員以上は現状を理解していると思うが、会友・準会員には切実な問題なので考慮してもらえないだろうか。
- 平島理事  
 ・会友・準会員の画集掲載は任意であったが、他団体でも一般から掲載しているところもあり全員掲載が普通である。本会は会員以上の年会費に画集掲載の費用も含めているので、会全体の将来を考え全員画集掲載料とした。その為に会友、準会員の改定額が上がっている。
- 社員質疑  
 ・それならば、値上げの理由を納得できる内容で説明し、合わせて大変魅力がある会であることを文書で示して欲しい。
- 斉藤理事  
 ・十分理解できることなので、何らかの対策を検討したい。
- 社員質疑  
 ・画集掲載は任意にしたらどうか。
- 平島理事  
 ・画集掲載料とした場合、税申告上画集の処理が複雑になり、実務上検討を要する。
- 議長  
 ・第5号議案について、他に質疑がなかったため採決する。  
 -賛成114名。
- 議長  
 賛成多数で原案通り承認された。
- 〔第6号議案〕 理事、監事選任の件
- 議長  
 ・第6号議案について説明  
 信任投票の集計結果を選挙管理委員会からお願いします。



竹澤選管委員長 ・集計結果の報告をします。すべての候補者が過半数を満たしており理事候補者、監事候補者全ての方が信任されています。

- 〇理事候補者  
 中谷時男 谷田川卓 西野和治  
 斉藤 猛 工藤一二 関戸二郎  
 谷本清彦 原 尚利 安納剛一  
 瀧川 隆 宮脇豊子 平島昭久  
 片桐学而 益村 司 飯島敏子  
 石山 匠 作山隆一 米屋綾子  
 大浦秀尚 小林満風

〇監事候補者 竹澤勝美 田辺直美

議長 ・第6号議案は全ての方が信任されました。これで議事は全て終了しました。

以上の議事を終え12時45分に第7回定時社員総会を閉会した。

## 第7期事業報告 (平成30年1月1日～12月31日)

### 1. 第90回記念新構造展の開催(概要)

- ・平成29年6月23日～6月30日 東京都美術館
- ・記念事業として下記の事業が行われた。

- (1) 新構造記念大賞(2作品)
- (2) 記念講演会「ライフワークはアホウドリの再生」  
 長谷川 博 東邦大学名誉教授  
 「美術界の現況と将来」  
 甲賀 正男 (株)クサカベ取締役相談役
- (3) 記念画集発刊 会友以上全員掲載
- (4) 記念チャリティー 売上を台東区教育振興課に寄付
- (5) 歴史展示室 何徳来コーナー 歴史資料展示
- (6) 祝賀会 功労賞・感謝状

項目	絵画部	版画部	彫刻部	工芸部	写真部	合計
展示作品数	305	23	6	85	96	515
会員等展示点数	249	22	4	65	79	419
入選点数	56	1	2	20	17	96

会期中約9,000名の入場者があった。

### 2. 第90回記念第6回新構造東京展の開催

- ・平成30年2月21日～3月5日 国立新美術館
- ・出品者数168名、出品点数198点、観客数6,500名  
 第90回記念展のために90回記念新構造賞・優秀賞を設定し、選抜制が採用された。



### 3. 支部展

・平成30年度各支部開催状況 ※巡回(本部作品の巡回)

展覧会名	場 所	日 程	巡回
香川支部展 35回	高松市美術館	平成30年 2月6日~2月11日	○
長野県展 48回	ギャラリー 82	平成30年 3月27日~4月1日	○
茨城作家展 32回	茨城県民文化センター	平成30年 3月27日~4月2日	
和歌山支部展 58回	和歌山県民文化会館	平成30年 4月11日~4月16日	○
千葉支部展 48回	千葉県立美術館	平成30年 4月24日~4月30日	
埼玉支部展 56回	埼玉県立近代美術館	平成30年 7月24日~7月29日	
広島支部展 (第7回広島巡回展)	広島県立美術館	平成30年 7月31日~8月5日	○
栃木支部展 29回	那須野ヶ原 ハーモニーホール	平成30年 9月15日~9月19日	
神奈川支部展 34回	Art ガーデン川崎	平成30年 10月2日~10月7日	
岩手支部展 28回	盛岡市民文化ホール	平成30年 10月4日~10月7日	

### 4. その他の事業

#### (1) 会報

昨年に続き年2回発刊し、カラー写真を多く載せ見やすい誌面にしている。

#### (2) 第5回スケッチ会

和歌山周辺で開催する予定であったが悪天候で中止となった。

#### (3) HP の更新

ホームページの更新とHP を持たない支部の支援。

#### (4) 浅草事務所

作品研究会・講習会等の有効活用を検討。

#### (5) 何徳来展

没後33年在日台湾人画家「何徳来の愛と死」展が2018.2.16~3.14に台湾文化センターで開催され、記念セレモニーに理事長はじめ多数の会員が参加した。これを契機に台湾作家との交流が始まった。

#### (6) 東京支部

東京在住・在勤のメンバーにより、会員の交流・拡充・研鑽の場として東京支部を結成するための会合が開かれ、総会の承認を得て結成された。

## 第8期事業計画

(2019年1月1日~12月31日)

### 1. 基本方針

- 美術に関する研究及び展覧会を開催して、美術創作活動の奨励並びにひろく一般の鑑賞に資するとともに芸術文化向上発展に寄与する。
- 会の歴史と伝統を有し絵画、版画、彫刻、工芸、写真、の5部門による総合展として独自性と特色ある展覧会を開催する。
- 重点事項
  - 新構造展の充実発展を図る。
  - 巡回展・作品巡回により地方展の充実発展を図る。
  - 新人の発掘と支部活性化の推進を図る。
  - 会員の研修、親睦の場を企画して豊かなライフワークを支援する。
  - 本部事務所を活用し新人の育成を図る。

### 2. 主要事業

- 第91回新構造展の開催：東京都美術館(6月)
  - 作品の充実と展示方法・イベントの工夫を図る。
  - 小作品の公募による一般出品者の底辺拡大を図る。
  - 台湾作家の展示による海外作家との交流を図る。
- 「第7回新構造東京展」の開催(国立新美術館：2月~3月)
  - 会員・準会員・会友120余名を対象に大作を中心とした大型展示による5部門の総合展を公募により開催。
  - 新構造の特色を示す作品群の展示を目指す。
- 巡回展(各支部展)
  - 本展の受賞作品を中心に5部門から選抜して巡回する。
- 全国支部の活動推進の強化
  - 定例全国支部長会議を実施、本部と連携を図る。
  - 全支部展の開催と交流を推進する。
  - 東京支部の設立の承認
- 研究会講習会の実施
  - 第5回スケッチ会の実施：(9~10月)
  - 浅草事務所会議室の活用推進
  - インターネット合評会を実施し研究精進の場とする。
- 会報の充実
  - 年2回会報を発行し、さらに内容の充実を図っていく。

# 第91回 新構造展 公募

後援 / 東京都

絵画・彫刻・版画・写真・工芸

会期 ▶ 6月23日(日)~30日(日) 搬入日 = 6月15日(土)・16日(日)

会場 ▶ 東京都美術館 [上野公園] 1階第1~第4展示室 東京都台東区上野公園4-36

● ギャラリートーク 6月26日(水) 10時~ 展示会場内

※出品要項は各部門別を明記して、下記事務所まで郵送又はファックスでお申込み下さい。

一般社団法人 新構造社本部事務所 <http://www.shinkozo.or.jp/>

〒111-0032 東京都台東区浅草5-33-1 Tel&Fax 03-5808-9976 / 090-4126-7910(斉藤) E-mail: shinkozo@wa3.so-net.ne.jp



# 第7期収支実績 平成30年1月1日～12月31日

## 収入の部

(単位円)

(摘要内単位千円)

科目	小科目	第6期実績	第7期予算	第7期実績	予算比	前期比	7期実績摘要
経常収入		19,933,000	21,252,500	21,647,730	395,230	1,714,730	
年会費		14,752,000	15,912,500	16,150,730	238,230	1,398,730	画集加算金 1,764
	役員	2,654,000	3,355,000	3,300,230	-54,770	646,230	理事、監事、委員 58名
	会員	9,751,000	9,770,000	9,813,500	43,500	62,500	246名
	顧問	102,000	110,000	120,000	10,000	18,000	3名
	準会員	1,262,000	1,300,000	1,492,000	192,000	230,000	50名
	会友	716,000	1,050,000	1,150,000	100,000	434,000	47名
	休会者	267,000	327,500	275,000	-52,500	8,000	18名
出品料		3,721,000	4,340,000	4,332,000	-8,000	611,000	
	絵画	255,000	360,000	282,000	-78,000	27,000	小品 36名、一般 16名
	版画	8,000	8,000	8,000	0	0	1名
	彫刻	16,000	40,000	8,000	-32,000	-8,000	1名
	工芸	176,000	176,000	144,000	-32,000	-32,000	18名
	写真	176,000	176,000	120,000	-56,000	-56,000	15名
	東京展	2,835,000	3,330,000	3,280,000	-50,000	445,000	162名一般 4名
	支部展協賛	255,000	250,000	310,000	60,000	55,000	
	画集協賛			180,000	180,000	180,000	
入会金		360,000	300,000	345,000	45,000	-15,000	23名
記名料		1,100,000	700,000	820,000	120,000	-280,000	
	会員	800,000	400,000	600,000	200,000	-200,000	15名
	準会員	300,000	300,000	220,000	-80,000	-80,000	11名
販売収入費		131,200	126,000	109,020	-16,980	-22,180	
	画集	63,500	60,000	56,220	-3,780	-7,280	
	入場料	67,700	66,000	52,800	-13,200	-14,900	
その他収入		269,165	90,050	288,458	198,408	19,293	
	祝儀	60,000	50,000	70,000	20,000	10,000	
	預金利息	51	50	58	8	7	
	雑収入	209,114	40,000	218,400	178,400	9,286	
	チャリテイ-手数料			160,500	160,500	160,500	
	その他	209,114	40,000	57,900	17,900	-151,214	リポート他
支出合計		20,333,365	21,468,550	22,045,208	576,658	1,711,843	東京展 3,280千円

## 支出の部

科目	小科目	第6期実績	第7期予算	第7期実績	予算比	前期比	7期実績摘要
運営管理費		4,993,788	4,715,000	4,842,461	127,461	-151,327	
	会議費 总会他	83,225	195,000	110,843	-84,157	27,618	
	事務費	2,668,255	2,630,000	2,665,966	35,966	-2,289	
	賃借料	720,000	720,000	796,200	76,200	76,200	事務所賃料
	事務諸費	534,144	500,000	548,729	48,729	14,585	公共料金、メンテ他手数料
	通信費	360,881	540,000	450,889	-89,111	90,008	郵便、宅急便他
	文具費	461,630	300,000	206,448	-93,552	-255,182	インク、紙代
	租税公課	70,000	70,000	70,000	0	0	
	広告宣伝費	521,600	500,000	593,700	93,700	72,100	業界関係誌広告掲載
	印刷費	467,640	400,000	598,047	198,047	130,407	会報 2回、名簿、封筒他
	旅費交通費	1,574,396	1,350,000	1,286,005	-63,995	-288,391	
	慶弔費	191,200	130,000	181,600	51,600	-9,600	
	接待贈答費	9,072	10,000	0	-10,000	-9,072	
展覧会費		14,587,885	15,523,625	15,324,290	-199,335	736,405	
	会場費	3,530,625	3,540,625	3,484,400	-56,225	-46,225	
	新構造展	2,431,525	2,431,525	2,375,300	-56,225	-56,225	都美館
	東京展	1,099,100	1,109,100	1,109,100	0	10,000	新国立美術館

科目	小科目	第6期実績	第7期予算	第7期実績	予算比	前期比	7期実績摘要
陳列費		2,701,926	2,500,000	2,529,597	29,597	-172,329	東京展 743
	業者委託費	2,701,926	2,500,000	2,529,597	29,597	-172,329	
会場設営費		542,496	550,000	623,277	73,277	80,781	東京展 208
	設備費	542,496	550,000	623,277	73,277	80,781	
印刷費		3,323,757	4,310,000	4,312,878	2,878	989,121	東京展 111
	画集	2,679,480	3,600,000	3,700,000	100,000	1,020,520	90 回展記念画集
	招待状	338,236	360,000	374,760	14,760	36,524	東京展 36
	出品要項	132,840	150,000	108,540	-41,460	-24,300	
	展示目録	83,561	100,000	93,960	-6,040	10,399	東京展 11
	諸印刷	89,640	100,000	35,618	-64,382	-54,022	東京展 44
派遣雇用費		154,360	180,000	162,100	-17,900	7,740	東京展 88
運営費		1,795,563	1,810,000	1,551,123	-258,877	-244,440	
	交通費	882,815	800,000	622,619	-177,381	-260,196	東京展 127
	食費	203,155	200,000	232,871	32,871	29,716	弁当代、東京展 30
	謝礼費	160,000	260,000	280,000	20,000	120,000	外部審査評論家講演謝礼
	会議費	26,387	50,000	83,359	33,359	56,972	東京展 34
	事務諸費	433,764	400,000	296,357	-103,643	-137,407	東京展 83
	来賓接待費	89,442	100,000	35,917	-64,083	-53,525	東京展 15
巡回展費		831,332	833,000	836,332	3,332	5,000	広島巡回展
	運営費	333,000	333,000	333,000	0	0	
	輸送費	498,332	500,000	503,332	3,332	5,000	
作品巡回搬送費、保管費		1,096,368	900,000	863,079	-36,921	-233,289	長野、和歌山、香川、茨城
褒賞費		611,458	900,000	961,504	61,504	350,046	東京展 200
助成補助費		580,000	1,140,000	1,281,448	141,448	701,448	
助成費		580,000	580,000	580,000	0	0	
補助費		0	30,000	0	-30,000	0	
東京展搬出入費			0	467,578	467,578	467,578	東京展出品料から負担
東京展助成費			530,000	233,870	-296,130	233,870	東京展不足金
支出合計		20,161,673	21,378,625	21,448,199	69,574	1,286,526	東京展 3,513 千円

	第6期実績	第7期予算	第7期実績
当該年度収支差額	171,692	89,925	597,009
正味財産期首残高	3,279,552	3,451,244	3,451,244
正味財産期末残高	3,451,244	3,541,169	4,048,253

## 第7期決算のまとめ

(単位：千円)

### 収入

	7期実績	予算比	前期比
収入総額	22,045	576	1,711
年会費	16,150	238	1,398
うち画集代	4,250	365	1,764
出品料	4,332	-8	611
うち東京展	3,280	-50	440

### 特別収入

1. 画集協賛金	180	180	180
2. チャリティー手数料	160	160	160

### 支出

	7期実績	予算比	前期比
支出総額	21,448	69	1,286
運営費	4,842	127	▲ 151
展覧会費	15,324	-199	736
東京展支出総額	3,513		

### 特別支出

1. 画集印刷費	3,700	100	1,020
2. 東京展補助	233	-296	233
3. 報償費	961	61	150

### 経常費用減少の主な費目

1. 交通費	1,908	-240	▲ 549
2. 陳列費	2,529	29	▲ 172
3. 文具費	206	-93	▲ 255

### ①総額ベース

収支差額	597
前記末残高	3,451
今年度末残高	4,048

### ②特別収支を除く収支

経常収入	16,662
------	--------

収入総額－（画集掲載料加算、東京展出品料、画集協賛金、チャリティー手数料）

経常支出	16,935
------	--------

支出総額－（記念画集印刷、東京展支出）

経常収支尻	▲ 273
-------	-------

### ③第1期対第7期比増減額(経常収支ベース)

経常収入	▲ 6,845
経常支出	▲ 6,858
年会費	▲ 5,733

## 第8期収支予算

## 収入の部

(単位円)

(摘要内単位千円)

科目	小科目	第7期実績	第8期予算	前期比	摘要
経常収入		21,647,730	17,030,000	-4,617,730	
年会費		16,150,730	13,004,000	-3,146,730	画集掲載費従来基準
	役員	3,300,230	3,000,000	-300,230	理事監事 22名×50 委員 38名×50
	顧問	120,000	114,000	-6,000	3名×38
	会員	9,813,500	7,600,000	-2,213,500	200名×38
	準会員	1,492,000	1,020,000	-472,000	45名×20 画集 15名×8
	会友	1,150,000	1,000,000	-150,000	64名×15 画集 5名×8
	休会	275,000	270,000	-5,000	委員 1 会員 13 準会員 2 会友 4
出品料		4,332,000	3,396,000	-936,000	
	絵画	282,000	360,000	78,000	一般 20名×8 小品 40名×5
	版画	8,000	8,000	0	1名×8
	彫刻	8,000	8,000	0	1名×8
	工藝	144,000	160,000	16,000	20名×8
	写真	120,000	160,000	40,000	20名×8
	東京展	3,280,000	2,450,000	-830,000	120名×20 5名×10
	支部展協賛	310,000	250,000	-60,000	50名×5
	画集協賛	180,000			
入会金		345,000	150,000	-195,000	10名×15
記名料		820,000	480,000	-340,000	
	会員	600,000	280,000	-320,000	7名×40
	準会員	220,000	200,000	-20,000	10名×20
販売収入費		109,020	110,000	980	
	画集	56,220	60,000	3,780	
	入場料	52,800	50,000	-2,800	
その他収入		288,458	100,050	-188,408	
	祝儀	70,000	60,000	-10,000	
	預金利息	58	50	-8	
	雑収入	218,400	40,000	-178,400	
	チャリテイー手数料	160,500	0		
	その他	57,900	40,000	-4,805,158	ポストカード販売レポート
収入合計		22,045,208	17,240,050	-4,805,158	東京展出品料 2,450千円、除東京展収入14,790千円

## 支出の部

科目	小科目	第7期実績	第8期予算	前期比	摘要
運営管理費		4,842,461	4,600,000	-242,461	
会議費 総会他		110,843	140,000	29,157	事務所賃料
事務費		2,665,966	2,580,000	-85,966	
	賃借料	796,200	720,000	-76,200	
	事務諸費	548,729	530,000	-18,729	
	通信費	450,889	460,000	9,111	
	文具費	206,448	200,000	-6,448	インク、紙代
	租税公課	70,000	70,000	0	
	広告宣伝費	593,700	600,000	6,300	業界関係誌広告掲載
印刷費		598,047	470,000	-128,047	会報 2回、名簿、封筒他
旅費交通費		1,286,005	1,200,000	-86,005	
慶弔費		181,600	200,000	18,400	
接待贈答費		0	10,000	10,000	
展覧会費		15,324,290	13,399,000	-1,925,290	
会場費		3,484,400	3,484,000	-400	
	新構造展	2,375,300	2,375,000	-300	都美館
	東京展	1,109,100	1,109,000	-100	国立新美術館
陳列費		2,529,597	2,500,000	-29,597	東京展 700
会場設営費		623,277	600,000	-23,277	東京展 157
印刷費		4,312,878	3,310,000	-1,002,878	
	画集	3,700,000	2,700,000	-1,000,000	従来基準の画集
	招待状	374,760	370,000	-4,760	東京展 36
	出品要項	108,540	100,000	-8,540	
	展示目録	93,960	100,000	6,040	東京展 23
	諸印刷	35,618	40,000	4,382	東京展 11



科目	小科目	第7期実績	第8期予算	前期比	摘要
派遣雇用費		162,100	160,000	66,040	東京展 88
運営費		1,551,123	1,445,000	-106,123	
	交通費	622,619	600,000	-22,619	東京展 112
	食費	232,871	230,000	-2,871	
	謝礼費	280,000	200,000	-80,000	東京展来賓交通費 30
	会議費	83,359	80,000	-3,359	
	事務諸費	296,357	300,000	3,643	東京展 80 (美術館電気代他)
	来賓接待費	35,917	35,000	-917	
巡回展費		836,332	600,000	-236,332	
	運営費	333,000	100,000	-233,000	中国新聞共催中止
	輸送費	503,332	500,000	-3,332	東京～広島搬出入費
作品巡回搬送費、保管費		863,079	700,000	-163,079	
褒賞費		961,504	600,000	-361,504	東京展 50
助成補助費		1,281,448	610,000	-671,448	
	助成費	580,000	580,000	0	
	補助費	0	30,000	30,000	
	東京展搬出入費	467,578			
	東京展助成費	233,870	0	-233,870	
支出合計		21,448,199	18,609,000	-2,839,199	東京展費用計 2,444千円、除東京展支出 16,165千円

	第7期実績	第8期予算	前期比
当該年度収支差額	597,009	-1,368,950	-1,965,959
正味財産期首残高	3,451,244	4,048,253	597,009
正味財産期末残高	4,048,253	2,679,303	-1,368,950

## 支部展報告

### 第36回香川支部展

会期 平成31年2月26日～3月3日  
 会場 高松市美術館市民ギャラリー  
 主催 新構造社香川支部  
 出品 7名、25点 本部賛助出品5点  
 来場 553名



**第36回** 平成31年  
一般社団法人  
**新構造社香川支部展**

平成31年  
**2月26日(火)～3月3日(日)**  
 9:30～17:00  
(最終日は15:00まで)

会場 **高松市美術館1F市民ギャラリー**

展示 **絵画(油絵・水彩画等)・工芸作品**

ご高覧 賜りたく ご案内申し上げます。

事務局 香川支部長 岡 啓介  
TEL. 089-1329-8550

○尾浦 廣行

○小比賀 正子

○岡 啓介

○津野 正敏

○谷澤 博信

○水澤 孝則

○亀井 龍介

## 第49回長野支部展

会期 平成31年3月26日～3月31日  
 会場 ギャラリー 82  
 後援 長野県・同教育委員会・長野県芸術文化協会・  
 信濃毎日新聞社・BC 信越放送・須坂新聞社・  
 北信ローカル  
 出品 41名、74点  
 来場 698名



2019年 第49回  
**公募** 絵画・彫刻・版画・写真・工芸  
 一般社団法人  
**新構造長野県展**  
 ご高覧賜りたく ご案内申し上げます。  
 会期 3月26日(火)～3月31日(日)  
 (休日はありません)  
 AM9:00～PM5:00  
 (最終日3時まで)  
**入場無料**  
**会場 ギャラリー 82**  
 賛助出品 新構造社本展巡回作品  
 新構造グループ日本油彩作家協会  
 ■主催/一般社団法人 新構造社長野支部  
 ■後援/長野県・長野県教育委員会・長野県芸術文化協会  
 信越放送・信濃毎日新聞社・須坂新聞社  
 北信ローカル (除個別)  
 事務局 長野市中部所 1-29-4  
 長野県支館長 丸田雅則 方 tel.026 (228) 8593



## 第59回和歌山支部展

会期 平成31年4月10日～4月15日  
 会場 和歌山県民文化会館  
 後援 和歌山県美術協会  
 出品 18名、37点 本部賛助作品9点  
 来場 405名

第59回  
**新構造社和歌山支部展**  
 平成31年4月10日(水)～4月15日(月)  
 AM9:30～PM5:00 (最終日はPM3:00まで)  
 和歌山県民文化会館(大展示室)  
 和歌山市小松原通1-1  
 ☎ 073-436-1331  
 後援 和歌山県美術協会

この度新構造社和歌山支部展を開催致します。  
 新構造本部巡回作品と併せての展覧会です。  
 是非ご来場、ご高覧の程お願い申し上げます。

〔洋画〕 南出 豊樹・中井 幸子  
 小川 昭彦・松尾 邦彦・松田 允子  
 井上 浩子・濱口 憲子・三宅 洋子・松田 光親  
 近藤 瑞穂・近藤豊美子・奥 由紀子・加地みどり  
 千光士道志・柏崎 泰子・重石 景子・小川 明美

※一般公募も受けています。4月9日(火)午前12時までに  
 県民ギャラリーまで搬入して下さい。大きさは6号から  
 10号まで。特に東京展では10～20号の小品部門  
 (2点まで)が出品できます。

代表/小川 昭彦 (TEL.090-9065-7580)  
 事務局/和歌山市中之島320 濱口憲子 (TEL.090-4496-1194)





## 第33回茨城支部展

会期 平成31年4月14日～4月20日  
 会場 東海ステーションギャラリー  
 後援 茨城県 同県教育委員会 茨城新聞社  
 出品 00名、00点  
 来場 000名



2019年 第33回  
 絵画・版画・彫刻・工芸  
**新構造茨城作家展'19**

**招待状**  
 このたび、第33回 新構造茨城作家展女子部のメンバーで開催致します。なにとぞ皆様お誘いの上、ご来場ご高覧下さいませよう御案内申し上げます。

**【出品者】**  
 新井 美代(写真) 石山 真(彫刻) 藤尾 智絵子(和洋)  
 小畑 梨子(和洋) 神永 大輔(和洋) 本路 眞(和洋)  
 栗原 豊(和洋) 後藤 高子(和洋) 高野 千夏子(和洋)  
 高橋 忠治(和洋) 筒井 恭子(和洋) 西野 朝野(和洋)  
 西野 春子(和洋) 堀 千恵子(和洋) 藤谷 一二(和洋)  
 門前 由弘(和洋) 谷田川 幸(和洋)

— 入場無料 —  
 新構造茨城支部



## 第49回千葉支部展

会期 平成31年4月23日～4月29日  
 会場 千葉県立美術館  
 後援 千葉県教育委員会  
 出品 153名 95点  
 来場 1,200名



**新構造**  
 第49回  
**千葉支部展**

会期 2019年4月23日(火)～29日(月)  
 AM9:00～PM4:30  
 会場 千葉県立美術館 5室  
 主催 一般社団法人 新構造社 千葉支部  
 後援 千葉県教育委員会

ご来場中はお存じますが、皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ご高覧を願っております。





# トピックス

## 日台交流の打ち合わせ 齊藤記

3月19日(火)第91回新構造展での台湾作家賛助出品について台北にて招待作家の林章湖氏・黄淑卿氏と搬入・展示等の打ち合わせを行い、併せて新竹文化局が希望している新竹市での何徳来先生と新構造社作家による展覧会の意見交換を行った。



林章湖  
台湾美術院院士・国立台湾師範  
大学美術研究所兼任教授



黄淑卿  
大同大学、台北科技大学  
兼任助教授 範大学美術  
研究所兼任教授

## 台湾作家交流事業

昨年2月に、新構造社創立の功労者で運営委員であった何徳来先生の没後33年「何徳来の愛と死」展(企画:台湾美術研究家 森美根子氏)が台湾文化交流センターで開催されました。レセプションには中谷理事長はじめ多数の会員が出席し、台湾関係者、何先生ゆかりの方々と共に作品を拝見しながら、大いに盛り上がりました。(会報74号)

これを機に台湾作家との交流機運が高まり、日台交流の打合せを行い、第91回展において国際的に活躍する台湾の著名な現代作家の林章湖氏、黄淑卿氏の作品が特別展示されました(次号会報)。併せて本年暮れに台湾で新構造有志による展覧会を行うためプロジェクトを立ち上げ、日台交流の準備を進めているところです。

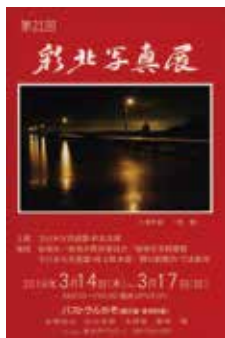
## 第21回全日写連彩北写真展

### 第21回全日写連彩北写真展

平成31年3月14日から17日まで彩北支部写真展が埼玉・加須市パストラルかぞにて開催されました。

会員46名が150点を出品、内新構造会員5名準会員5名、会友4名が全倍作品など出品しました

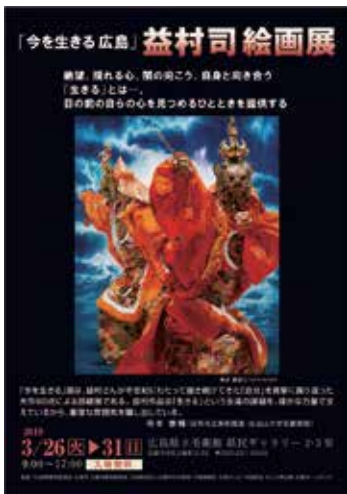
本部より常務理事の工藤、安納、谷本先生、小林委員にご高覧頂きました。期間中1,100名の来場がありました。



## 山 個 展



## 益村 個展



### 益村司絵画展「今を生きる広島」 (理事・広島支部長)

益村司理事が半世紀にわたって描き続けてきた大作60点による回顧展を3月に広島県立美術館において開催された。

「生きる」をテーマとして描いてきた「絶望の時代—さるとりいばら」「葛藤の時代—日本海」「自己投影時代—映」「奮い立つ時代—蘭陵王」などシリーズごとに展示、確かな力量と重厚な雰囲気を醸し出す作品群であった。

個展を超えた広島県立美術館の企画展に相当する美術展であり、1,321名が来場、テレビで放映されるなど、大きな反響があった。

### 益村司理事パリ国際サロン【大賞】を受賞

1985年以来、芸術作品発表の場として邦人作家の優れた作品を広く知らしめることを目的としたパリで開催するサロン形式のコンクール第32回展で日本作品167名、270点展観の中で益村理事が大賞(第1位)を受賞した。

## 紀行・美術の旅 一前編

小林満風 埼玉県立近代美術館ファミス企画委員

出雲大社 出雲縁結び空港を降り、旅の始まりは神無月とあって、出雲に集まった日本じゅうの神がみがファミス一行を出迎えてくれた。この幸運は旅の安全と帰った後も継続するに違いない。国宝の本殿は大社造りの代表建築、同行のN氏が会いたいと言った神楽殿の大注連縄はその巨大さに言葉を失う。これら境内の散策は庭木ひとつをとっても、出雲には古代より悠久のときが流れ、ときが経つのも忘れる。

島根県立美術館 宍道湖の水辺という特徴を活かした建築を迫及。入って直ぐにこの設計意図が分かるほど、水の気配と心地よい内部空間が広がり、何処までもフラットな常設展示室の豊富な展示へと流れる。水がテーマのコレクションなど美術館にかける島根県の気概さえ感じる。藪内佐斗司の「宍道湖うさぎ」に西を向いて触り、シジミを供えるが気になる。来年度の小茂田青樹の企画展の準備をしている話の中で前山裕司学芸員の名もあがった。

小泉八雲記念館 八雲が帰化して120年、その記念に展示構成を拡充した年に来館できたのは幸運。館長は八雲の曾孫で概要説明も館長夫人。八雲の日本との出会いは、ニューヨークで「古事記」と出会い、松江に赴任してきたのも、「古事記」がとりもつ縁であると言う。記念館の庭には八雲とセツ夫人の生活を見守った庭木が今も残る。再来して松江城と武家屋敷を仕切ってお堀の水に、八雲の横顔を写してみたい。同原作の中学の英語の教科書にでてくる「MUJINA」が懐かしい。

足立美術館 創設者足立全康の美術館づくりの信念、「日本庭園を造って、四季の美に触れ、その感動をもって大観などの日本画の魅力を理解していただく。」床の間の壁をくりぬいた生の庭園絵画は面白い。少年の頃切手収集した大観画「霊峰不二」の原画に直面できたのは嬉しい。世界から注目される美術館は、進化の手を休めず今も来館者のニーズに応えようとしている。

写真後送



## 一般社団法人新構造社委員会役割分担一覧

データ後送

### 我が勉強会について 作山 隆一



20代始め就職してすぐに新構造展に出品し始めたが、折田智さん、細谷玉江さんを通して幸いにも運営委員の徳山巍先生を知ること

となり、すぐ徳山教室に毎週通うようになった。本展の出品間近になると、合評会を通して徳山先生の指導方法が実に勉強になり印象深かった。各々の個性を生かした指導で二番煎じはダメだと云うのが口癖だった。

小生の若い頃の直線を生かした制作も徳山先生の指導であり、10年は続けるというもので、それ以降ひとつの方向を見つけると10年スパンでシリーズを続けたものである。

30代の半ばのある時、徳山先生からもう来なくていいから後輩を指導しろと



言われ鶴見の病院のグループ、助産婦の菅原サキ子さんの紹介で指

導することになり仲間には大池茂保、金田一男、土屋清子、楯身誠子氏などおり、早速新構造に出品させた。

菅原さんには好きな色を使ってみたらと話したら、マリーローランサンのような淡い色ばかりを使っていたので、以後その色彩を中心に制作させた。早川さんは立ち枯れた向日葵をダイナミックに表現させた。本人はおおらかな性格で大胆な作風で制作していたが60才頃惜しくも亡くなった。大池氏は最後はクラゲのシリーズを続けたが、空間に新聞紙を丸めて押しつけて面白い味の変化をつけたり、筆をたたきつけて弾けた点々をつけたりと、私もやったことのない技法で実験的方法をやった物である。金田氏は繊細な精神の持ち主で、草花を細かくデッサンして画面にトレースして表現していた。

一度勉強会を徳山先生に見てもらい、これでいいと云われて指導方法に自信をもったものです。各々の個性を見てモチーフも自分で探させてトライさせたの



がよかったようだ。その他主人では長浜トヨ子さんがおり、故郷の桜島シリーズを色鮮やかにとり組んだ。土屋清子氏は熱帯魚と子どもシリーズを続けたが、数年前に亡くなったのは惜まれる。

ただ今活躍中なのがヨーロッパの城シリーズの加藤良之氏、大和路を中心に仏像シリーズの荒井令子さん、大胆な向日葵シリーズの小野口和代さんが夢幻気に張り切っております。





## 永島秀雄先生を偲んで

肉も野菜も盛りだくさん、デザートも多めに注文した。久しぶりに永島先生を囲んで、いつものレストランで食事会。会話も食もはずんでいた。お耳は少し遠い様だったが、そこにはいつものお元気な先生がいらっしゃった。それから1年後、先生の訃報を知った。

あの時は心配をかけまいと一緒にってはしゃいでくれたのだと思った。

絵にもその人柄が偲ばれ一つも華美ではないのに、そのあたたかさに魅きつけられる。特に代表作である山羊の連作には山羊とその世話をする人達の様子が生々と描かれていた。

山羊たちは小学校の校長時に、飼育小屋に自ら持ち込んだと言う。子供たちは校長先生と一緒に山羊の世話をしながら、いつしか親しみを込めて「山羊先生」と呼び合った。校長先生が退職し、山羊もいなくなったが玄関前には今も「山羊の絵」が掲げられている。その凛として前を見つめている雄の山羊の絵である。陽光を浴びて光る毛並みはまるで皇帝のように凛々しく何かしら意志を示しているかのよう。それは、先生そのものの様でもあった。ご冥福をお祈りいたします。

千葉支部 荒木千賀子



## 名誉会員近藤たいわ先生ご逝去



新構造社元委員近藤たいわ先生が2018年ご逝去されました。89歳でした。

先生は広島から60年近くにわたり新構造展に出品を続けられ、1996年には安田美術財団奨励賞を受賞されています。この作品のような画面構成に工夫を凝らし、密度の濃い、新構造社の理念に裏打ちされた作品発表を続けてこられました。

長年、委員として献身的な活動をされ地方支部活動の充実を推奨、実践され、新構造社の発展に格段の貢献をされています。

また、広島支部設立にも尽力され、広島からの多くの出品者を出すようになってきました。2008年には新構造社では初めての広島巡回展も実現されています。先生の統率力、包容力あふれる人柄、そして長い美術教師の経験、精力的な教室開催などによるものです。改めて敬意を表すところです。ご冥福をお祈りします。

広島支部長 益村 司

写真後送

### ● インターネット合評会 ●

令和元年5月初旬から「インターネット合評会」を始めました。合評会の申込みはネット、写真及びコピーの郵送にても受付しております。既に20名程度の申込みがあり、早速、中谷理事長と瀧川常務を中心に添削指導(講評)を行い、申込者に返信いたしました。

今回は本展を控え、その下見の申込みがほとんどでしたが、今後は本展出品作品だけでなく、日頃の習作、デッサン、スケッチ等の申込みもどしどしお待ちしております。

#### 受付メール

shinkozogatupyou@shinkozo.or.jp

#### 郵送

新構造社 本部事務所 合評会係

#### 連絡、問合せ先

090-2175-8400(瀧川隆)

Email : takikawa16@yahoo.co.jp

## 理事会・合同委員会報告

### 平成31年度 第1回理事会

1. 日時 平成31年1月20日(日) 13時～16時
2. 場所 東上野区民館
3. 出席者 理事14名 監事2名
4. 議題
 

第1号議案 会員動向報告の件	承認
第2号議案 第7期事業報告、収支決算の件	承認
第3号議案 第8期事業計画、予算案の件	承認
第4号議案 年会費改定の件	承認
第5号議案 総会議案の上程について	承認

### 平成31年度 第2回理事会

1. 日時 平成31年2月13日(金) 13時～16時30分
2. 場所 新構造社 本部事務所
3. 出席者 理事13名 監事3名
4. 議題
 

第1号議案 会員動向報告の件	承認
第2号議案 社員総会議案書承認の件	承認
第3号議案 第91回展要項及びスケジュールの件	承認
第4号議案 第91回展絵画部審査員選考の件	承認

### 平成31年度 第3回理事会

1. 日時 平成31年3月23日(金)  
総会終了後13時30分～14時
2. 場所 グリーンパーク
3. 出席者 理事17名、監事2名
4. 議題
 

第1号議案 代表理事、副理事、常務理事の選出の件	承認
第2号議案 理事職務分担の件	承認
第3号議案 委員改選の件	承認
第4号議案 第91回展審査員選出の件	承認
第5号議案 会員動向の件	承認

### 平成31年度 第4回理事会

1. 日時 令和元年5月15日(金)  
総会終了後13時～15時
2. 場所 新構造社 本部事務所
3. 出席者 理事19名(委任状5名)、監事 1名
4. 議題
 

第1号議案 会員動向報告の件	承認
第2号議案 会費値上げの緩和策の件	承認
第3号議案 総会決議に基づく運営規程の変更の件	承認
第4号議案 日台交流の打ち合わせについて	承認

### 令和元年 第1回合同委員会

1. 日時 令和元年5月17日(金) 13時～16時30分
2. 場所 東京文化会館
3. 出席者 理事12名 監事2名 委員21名
4. 報告および協議
  - 事務局(会計)報告
  - 総会、年間スケジュールについて、会費の改訂について
  - 展覧会委員
    - 第91回展業務分担について
    - 巡回展および画集について
    - 台湾作家との交流出品について
  - 報告事項の後、91回展について各グループ別に準備作業



過日、私は病室の窓からぼんやりと外を見ていた。遠い昔、この病院で亡き父母も同じように窓から外を見ていた。二人は、どんな行く末を見ていたのだろうか。

一方眺めは外から内の病室へと移る。妻と一緒に聴いた「真っ白な嘘 white lie」の話が何故か蘇った。この嘘は、真っ赤な嘘と正反対で、人を救う嘘であると言う。私が入院していたこの病院には、真っ白な嘘が医療従事者と患者との日常会話の中に確かに息衝いていた。

令和最初の会報をお届けします。じっくり読んでいただければ嬉しいです。(満風)

会報委員 / 安納剛一 平島昭久 加々美和枝 大浦秀尚 田辺直美 小林満風 本橋やよい